

みんなを助ける！栄養士さんが考えたお弁当

✓ SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、ごはんをつくれることはありますか？材料を切ったり、味つけをしたり、焼いたり、お皿に盛りつけたり…
ごはんをつくるのは意外と大変で、時間もかかります。実は今、病院やお年寄りのいる施設では、
はたらく人が足りないという問題が起きていて、時間がかかる料理をつくれない、という状況になっているんです。
そこで、ごはんでみんなの健康を支える会社「日清医療食品」はあたためるだけで食べられるお弁当を病院や施設にとどけています。
その名も「医食のチカラ」というお弁当です。お弁当の中身は、健康を支える栄養のプロである
「栄養士」さんが考えてつくっているので、栄養満点、見た目もばっかりです。
このお弁当を病院や施設にとどけることで、はたらく人たちの負担も軽くなります。食べる人はおいしく、準備する人はかんたんに。
みんながうれしい「医食のチカラ」。そんなしきみが広がれば、世界はもっとやさしくなっていくかもしれませんね。

✓ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：病院や施設の「人手不足」問題のイメージ

今、病院やお年寄りの施設では、はたらく人が足りない「人手不足」という問題が起っています。この問題は、材料を切ったり、煮たり、焼いたり、盛りつけをしたりと、どうしても手間と時間がかかってしまう「毎日の食事づくり」をする場所でも起こっていて、はたらく人の大変さにもつながっています。同時に、食べのこしなどの「食品ロス」を減らす工夫です。こうした問題を解決するために、ごはんでみんなの健康を支える会社「日清医療食品」では、あたためるだけすぐに食べられるお弁当をとどけています。



画像参照：あたためるだけで食べられる「医食のチカラ」
(日清医療食品公式HPより)

✓ キーワード

ひとでぶそく 人手不足

はたらく人が足りないことを「人手不足」といいます。仕事の量が多いのに人が少ないと、一人ひとりの仕事が増えて大変になってしまいます。

しょくひん 食品ロス

まだ食べられるものが、すぐられてしまうことです。

えいようし 栄養士

食べものの栄養を考えてメニューをつくり、人々の健康を支える仕事です。

✓ 対象ゴール



みなさんできること！

身のまわりにある「みんながうれしい」しきみをさがしてみましょう。

おさらい

- 病院やお年寄りの施設では、人手不足で「毎日の食事づくり」が負担になっている。
- 「日清医療食品」では、あたためるだけで食べられるお弁当をとどけている。
- あたためるだけで食べられるお弁当は、はたらく人の負担を減らすことができる。

メモ



SDGs ラジオ